

※※2015年4月改訂(第5版)  
 ※2008年8月改訂(第4版)

消化酵素剤

日本標準商品分類番号

872331

# ※ パンクレアチン「ヨシダ」

日本薬局方  
 パンクレアチン  
 Pancreatin

承認番号	(61AM)2728
薬価収載	1964年5月
販売開始	1964年5月
再評価結果	1983年4月

貯 法：気密容器に入れ、30℃  
 以下で保存  
 使用期限：ラベルに記載

**【禁忌(次の患者には投与しないこと)】**

1. 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者。
2. ウシ又はブタたん白質に対し過敏症の既往歴のある患者。  
 [ウシ又はブタの膵臓由来の消化酵素であるため]

**【文献請求先】**

吉田製薬株式会社 学術部  
 〒164-0011 東京都中野区中央5-1-10  
 TEL 03-3381-2004  
 FAX 03-3381-7728

**【組成・性状】**

**1. 組成**

本剤1g中、日局パンクレアチン1gを含む。

**2. 製剤の性状**

本剤は白色～淡黄色の粉末で、特異なおいがある。

**【効能・効果】**

消化異常症状の改善

**【用法・用量】**

パンクレアチンとして、通常成人1回1gを1日3回食後に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

**【使用上の注意】**

**1. 副作用**

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
過敏症	くしゃみ、流涙、皮膚発赤等

注) 症状があらわれた場合には、投与を中止すること。

**2. 適用上の注意**

**服用時**

- (1)投与に際しては、直ちに飲みくだすように注意すること。〔小児が誤って本剤を大量に停滞させたため、口内炎及び口腔内潰瘍を起こしたとの報告がある。〕
- (2)投与に際しては、粉末を吸入しないように注意すること。〔本剤の吸入により気管支痙れん、鼻炎を起こしたとの報告がある。〕

**【薬効薬理】**

プロテアーゼ、アミラーゼ、リパーゼ、トリプシン、キモトリプシン、カルボキシペプチダーゼ、リボヌクレアーゼなど多くの酵素を含有し、たん白質、炭水化物及び脂肪の消化を行う。しかしトリプシン、アミラーゼ、リパーゼなどは胃液によって活性を失う。

**【有効成分に関する理化学的知見】**

一般名：パンクレアチン

本 質：食用獣、主としてブタの膵臓から製したもので、でんぶん消化力、たん白消化力及び脂肪消化力がある酵素剤である。

**【包 装】**

100g、500g

**【主要文献】**

- ※※1) 第十六改正日本薬局方解説書 C-3562 廣川書店(2011)  
 2) Reynolds,J.E.F.: Martindale-The Extra Pharmacopoeia 28th 652 The Pharmaceutical Press.(1982)



製造販売元  
**吉田製薬株式会社**  
 埼玉県狭山市南入曽951